

## 平賀源内から手袋産業へ～地域産業の再発見～

放送大学香川学習センター

放送大学香川学習センター再視聴施設（旧白鳥教室）のある東かがわ市で、シンポジウム「平賀源内から手袋産業へ～地域産業の再発見～」を開催する。我が国最大の手袋生産地である白鳥地区には、手袋神社や手袋産業開発の父「棚次辰吉」の銅像などがある。白鳥地区を含む旧大川郡は、古くは平賀源内から南原繁（元東大総長）、真嶋正市（元東大、東京理科大学学長）まで、多くの先達を輩出した技術先進地域であった。東かがわ市民会館新設に伴い白鳥教室も移転、同市中央公民館跡地横に「香川の手袋資料館(グローブ・ミュージアム)」も開設された。

この機会に、海外移転による産業空洞化に遭遇する手袋産業の再発見、再興を目指すシンポジウムを開く。本日のシンポジウムには、手袋産業の功労者棚次辰吉の直孫、地元関係者、香川県観光参与や知的財産法の研究者をパネリストに招いた。

日時：2013年12月1日（日）午後2時～4時

場所：東かがわ市交流プラザ多目的ホール（香川学習センター東かがわ教室）

登壇者：

棚次亘弘（棚次辰吉直孫 室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センター長  
宇宙航空研究開発機構名誉教授）

青江秀史（大阪大学法科大学院教授、知的財産センター長）

竹内守善（香川県地域振興参与、切絵版画家）

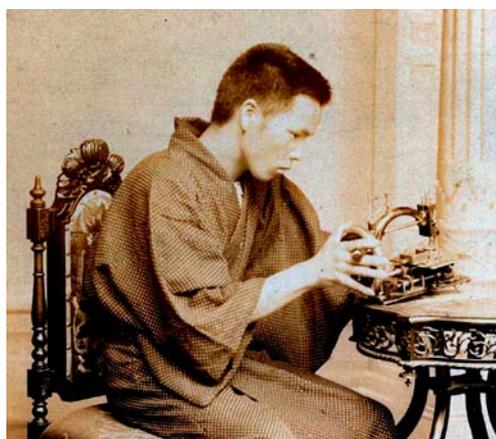
橋本康男（株式会社ハシセン会長、香川の手袋資料館開設者）

司会者：

山崎敏範（放送大学香川学習センター所長、香川大学名誉教授）



1940年頃の手袋工場の様子



軽便飾縫機と棚次辰吉

---

## 棚次 亘 弘 (辰吉直孫) 祖父 (棚次辰吉) の思い出

室蘭工業大学航空宇宙機システム研究センター長  
宇宙航空研究開発機構名誉教授

---

私の祖父 (辰吉) の思い出は、祖父の晩年の 10 年間ほどです。私の父 (睦廣) は、祖父の長男で、太平洋戦争終戦の 2 ヶ月前に他界しましたので、祖父が私の家族 (母と弟) と一緒に大阪府茨木市の家に住んでいました。大阪府高槻市の産業観音堂の境内に観音蒸し風呂温泉を開業することになり、昭和 29 年頃に高槻市に転居するまでの間、同じ屋根の下で暮らしました。物心がついた後の約 6~7 年間です。その後、昭和 33 年に祖父が他界するまでの間、祖父の住む高槻市の家に週末に遊びに行っていました。以下に、祖父との思い出等をまとめてみました。

### 祖父の信仰心

食事の前には必ず、仏壇に家族全員が座り、祖父がお経を上げるのが日課でした。浄土真宗 (西本願寺) の信者で、方々の寺社に寄付をし、石碑が残っています。香川県金比羅、長野県善光寺、和歌山県高野山、京都西本願寺・清水寺の礼状が残っています。薬師寺の高田好胤管長も産業観音堂に招きました。

### 祖父の駄洒落 / 巫山戯 (ふざけ)

祖父は一見頑固な怖そうな風貌でしたが、意外に無邪気な一面があり、総入れ歯の半分だけ口の外に出して、孫を笑わせました。また、駄洒落が好きで、「キュウリがキュウリを食べている」とか、食事後に「牛負けた」と言っていました。この答えは、「木売がキュウリを食べている」のであり、「牛負けた」→「馬勝った」→「旨かった」です。

### 祖父の好奇心と新しい技術への興味

祖父は販売直後のテレビを購入し、その技術や新しい情報に興味を示していました。私は茨木市に住んでいましたが、高槻の祖父の家まで週末にはテレビを見に行きました。

### 祖父との旅行

小学校 5 年生位の時、大阪天保山港から小松島港に渡り、讃岐の棚次商店に行き、金比羅参りもしました。当時、辰吉は 80 歳でしたが、金比羅山の階段を平気で昇っていました。祖父が蒸風呂を造る前に、私が小学校 4 年生の頃、京都八瀬の釜風呂を見学に行きました。その時、私は初めてタクシーに乗せて貰ったことを覚えています。

### 社会への貢献

天皇陛下が四国地方御巡幸の際に祖国再建に努力するようにとのお言葉を賜り、難病で困っている人達のために、高槻の産業観音堂の境内に観音蒸風呂温泉を造り、開業しました。(昭和 29 年頃) 弘法大師の教えに、「焼石に塩水をかけて身を蒸せば、百病に効く」とあり、京都八瀬の釜風呂を参考にして研究し、自作しました。80 歳でも未だ研究心は衰えず、モノ作りに執着しました。

### 辰吉の人脈の一こま

叔父の棚次富王 (辰吉の三男) は、三井物産の入社試験に落ち、祖父と親交のあった三土忠造に就職を依頼し、叔父は首尾よく東京芝浦電気 (現 (株) 東芝) に入社することができました。社長秘書室に配置になり、上役が新入社員の叔父に挨拶に来たそうです。叔父は後に東芝副社長に就任しました。

1. 手袋産業創成期と特許制度

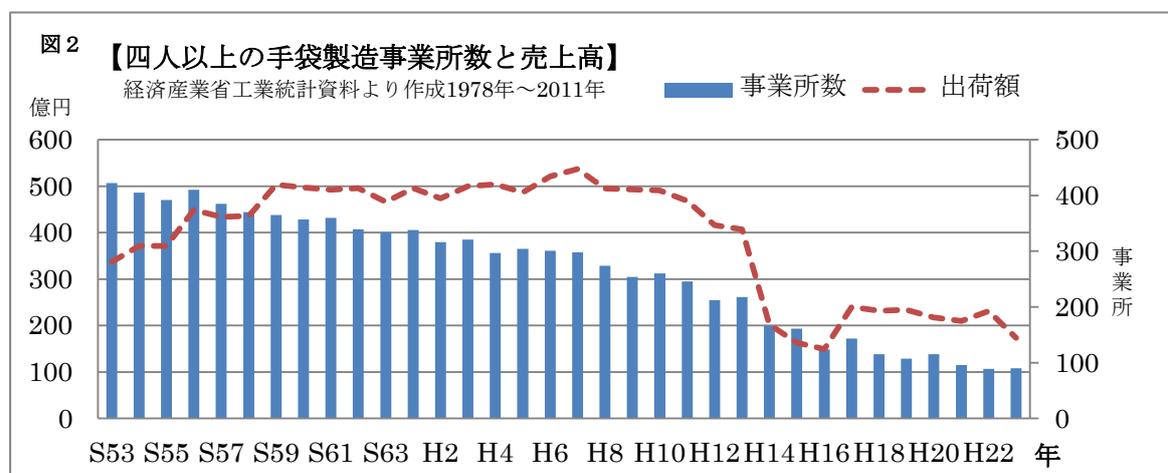
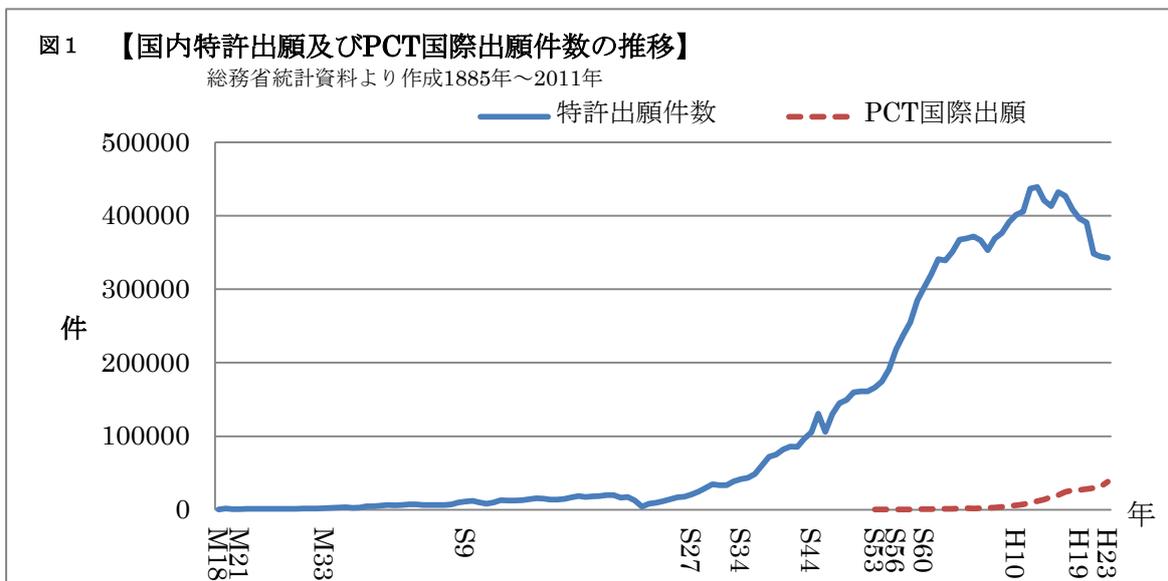
- 1883年(明治16年) 「工業所有権の保護に関するパリ条約」成立
- 1885年(明治18年) 「専売特許条例」成立
- 1888年(明治21年) 「東かがわ市で手袋製造がはじまる」
- 1889年(明治22年) 「工業所有権の保護に関するパリ条約」日本加盟
- 1899年(明治32年) 「辰吉氏軽便飾縫ミシンを発明、専売特許4185号を出願」

2. 手袋産業と現行特許法・PCT国際出願

- 1959年(昭和34年) 現行「特許法」成立(その後現在までに十数回の改正)
- 1978年(昭和53年) 「PCT(特許協力条約)」加入

3. 手袋産業の知的財産戦略

(参考)



---

## 竹内守善 昭和初期の白鳥～古フィルムでたどる～

香川県地域振興参与、切絵版画家

---

平成23年11月13日、放送大学香川学習センター所長山崎敏範香川大学名誉教授の紹介で香川の手袋産業に尽力された棚次辰吉氏の孫にあたる棚次巨弘氏（室蘭工科大学教授・前東大宇宙研究機構）を東かがわ市で出迎え、手袋産業資料館などを案内させていただいた。その折、戦前に棚次睦廣氏（辰吉氏長男）がアメリカで8mm映写機を購入して撮影されたフィルムが保存されていると聞き、さぬき映画倶楽部でこの貴重な映像をデジタル化できないかと棚次氏に相談、後日フィルムをお借りし、NPOさぬき映画倶楽部（会長：元香川県副知事川北文雄）が中心となって、1年間の年月をかけ、平成25年1月に完全デジタル映像化を実現した。

このフィルムには昭和初期の東かがわ市（旧白鳥町）の風景が撮影されており、白鳥大神宮祭の様子や虎頭の舞などの伝統芸能、当時の手袋作業風景、一子島（ひとごじま）などが鮮明に映っており大変貴重な史料であることが分かった。デジタル化した映像DVDとフィルムは棚次巨弘氏に返納し、コピーしたDVDを平成25年2月17日にNPOさぬき映画倶楽部から日本手袋工業組合に寄贈した。今後は、多くの関係者に見ていただくとともに撮影時期、撮影場所、撮影内容をできる限り特定を図り、最終的には映像にコメントを入れて再編集することになっている。

さぬき映画倶楽部では、これまでも香川を舞台にした映画のDVDの購入や県内の島々のDVD映像の収集保存をしており、e-とぴあかがわと連携協力して、現在、香川に残る貴重な映像や画像の収集と保存を図ることを広く呼び掛け、故郷に貢献してきた偉人の写真や映像などの資料のデジタル化を進める予定である。

本日上映するこの映像は全部の映像42分の内、短縮して20分に再編集したものである。

---

---

橋本康男 手袋産業の過去・現在・未来

株式会社ハシセン会長

香川の手袋資料館(グローブミュージアム)開設者

---

---

1) 東かがわ市手袋産業の歩み

A) 産地の歴史

- ・僧侶の恋の逃避行がキッカケ・・・ 本年度 125 年の歴史
- ・どうして白鳥地区へ蒔かれた「手袋の種」が大きく育ったのでしょうか？
- ・125 年続いてきた背景は？

B) 産地の現状

- ・今では世界一の手袋総合産地
- ・TV 放送で活躍のトップアスリートの手袋も
- ・具体的な企業運営は

C) 産地 125 年の歴史からくみとれること

- ・易不易の確認
- ・産地としてどう変わってきたか・・・変化・進化の側面
- ・変わらずに継承されてきたことは・・・継承・継続の側面

D) 今後に向けて

- ・世界的な事業環境・生活環境の変化にどう適応するか
- ・サムシングニューの具体化
- ・手袋産業の歴史を深く吸い込み、未来を大いに考えよう・・・

2) 「香川のでぶくろ資料館」ご紹介

- ・トップアスリートを支える手袋
- ・資料で見る産地の歩み
- ・初期の製造道具
- ・バーチャルグローブミュージアム <http://www.glove-museum.com>

3) おわりに・・・「縁尋機妙」

棚次辰吉(手袋産業先覚者)足跡			
	足 跡		社会の動向
1868(M1)			明治維新
1874(M7)		誕生(白鳥本町松原村)	
1877(M10)			西南戦争、電話器(ベル)
1879(M12)			白熱電球(エジソン)
1889(M22)	15歳	奉公(教蓮寺)	
1889(M22)			大日本帝国憲法
1890(M23)			帝国議会開設
1891(M24)	17歳	大阪へ	電灯の普及はじまる
1895(M28)	21歳	実父死去	日清戦争終了、日本最初の白熱電灯
1896(M29)	22歳	ドイツ輸入の飾手袋、靈感体験	
1897(M30)	23歳	軽便飾縫機-専売特許第4185号	電子の発見(トムソン)
1899(M32)	25歳	積善商会開設(白鳥の手袋工場)	
1901(M34)	27歳		マルコーニ無線通信 ノーベル賞制定
1903(M36)	29歳	第5回内国勸業博覧会=>褒章	飛行機(ライト兄弟)
1904(M37)	30歳	工場新築、軍用製品	日露戦争
1906(M39)	32歳	渡米(1回目)-->セーム加工機	
1907(M40)			小学校令改正、6年の義務教育
1910(M43)	36歳	渡米-渡欧(2回目)	
1914(T3)			第1次世界大戦~
1915(T4)	41歳	御大婚記念博覧会=>一等賞金牌	戦争景気
1919(T8)	45歳	渡欧(3回目)	大戦終了
1920(T9)			大不況
1926(T15)	52歳		八木アンテナ
1927(S2)			三土忠造-文部・大蔵大臣就任 保井コノ(日本最初の女性理学博士)
1928(S3)	54歳		テレビ実験(高柳健次郎)
1932(S7)	58歳	日本産業協会総裁伏見宮殿下・産業功労者	
1940(S15)	66歳	観音本堂建立	
1942(S17)	68歳	「棚次体験記」	
1945(S20)	71歳		終戦、南原繁-東大総長就任
1948(S23)	74歳		笠置シズ子(東京ブギウギ)
1950(S25)	76歳	天皇陛下香川県白鳥巡行=>謁見	
1955(S30)	81歳		真嶋正市-東京理科大学学長就任
1957(S32)	83歳	棚次辰吉銅像建立 「産業観世音と日本手袋発展史」	
1958(S33)	84歳	死去	